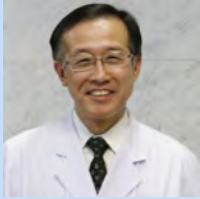


# 優れた臨床能力を持ち、 臨床での疑問を研究し追究する physician scientist を育てる



教育責任者 科長 梶尾 裕

当科には糖尿病や内分泌疾患の専門家がそろっており、日々切磋琢磨しています。専門医としての症例を多く経験するとともに、臨床からの研究をスタートするのに絶好の場です。皆さんが大きく飛躍できるようお手伝いしたいと考えています。意欲ある方をお待ちしています。

## 臨床

## 当科の研修の特徴

## 研究

### 糖尿病・内分泌の両方の専門医取得を目指す

- ・後期研修医 1 年目から上級医のもとで外来経験
- ・豊富な代謝・内分泌の救急症例
- ・周術期、妊娠など多彩な状況下での血糖管理
- ・褐色細胞腫、原発性アルドステロン症をはじめとする副腎疾患含め、下垂体、甲状腺、副甲状腺など多彩で豊富な内分泌疾患
- ・甲状腺超音波などの技術研修
- ・経験症例の学会発表

- ・上級医・指導者の指導のもと、研究に取り組む
- ・研修と並行して大学院の進学、海外留学

### <当科での研究>

- ・1 型糖尿病病態の詳細解明の研究
- ・肥満外科治療プロジェクト
- ・スマホ IoT 機器を用いた生活習慣改善プロジェクト
- ・レセプト・診療録データを用いたビッグデータ解析
- ・研究所における糖尿病病態解明の基礎研究
- ・副腎疾患データベースを用いた臨床データ解析
- ・下垂体、甲状腺疾患を対象とする臨床研究

## ●目標と展望

自立して診療と研究を行いリーダーシップを発揮できる専門医を目指す

自分の興味と専門性を生かして活躍できる場を探す

- ・研修と並行した大学院進学  
国内・国外  
臨床系・公衆衛生系

- ・研究者
- ・医系技官
- ・保健所勤務

- ・中核病院スタッフ・開業
- ・大学病院医局所属
- ・子育てと診療の両立

## ●研修生活

- ・後期研修医から医長・科長まで垣根が低くアットホームな雰囲気
- ・上級医へコンサルトしやすく、細やかな指導が受けられる



## ●在職中の先生の声

内原 正樹（後期研修 3 年目）

後期研修 3 年目の内原です。臨床では糖尿病・内分泌の豊富な症例を経験し、また副腎悪性腫瘍の治療開発に繋がる translational な研究を行っています。気さくな先輩と指導医に囲まれ、後期研修から入職した私でも日々楽しく働ける環境です。希望者は他の National Center での短期研修も可能です。意欲ある先生方と切磋琢磨できる日を楽しみにしています！

井花 庸子（指導医）

私は初期研修から当院に在籍し、現在は病院・糖尿病情報センターを兼務して診療・糖尿病の情報発信や医療政策研究に関わっています。また子育て中でもあります。医療の受給者側に立つ機会が増え気付く事も多く日々学ぶことばかりです。後期研修以降は専門を学びつつ、多様な役割がある医療の中で、それをどう活かしていくか道筋を選ぶ時期です。一緒に考えていきましょう！